

平成12年度認定「佐賀マイスター」

(10職種 10名)

印章彫刻	・	故	よしまる 吉丸	まさとし 方敏
名尾手漉和紙	・		たにぐち 谷口	すすむ 進
広告美術	・		かきはら 柿原	ひろし 弘資
和裁	・		ますだ 増田	あいこ 愛子
機械工作（仕上げ）	・		さねまつ 實松	せいごう 正剛
西洋料理	・		ほそい 細井	かずよし 和芳
造園	・		たかとり 高取	ただひこ 忠彦
畳製作	・	故	まつした 松下	とおる 亨
陶磁器製造（ろくろ成形）	・		やしき 矢鋪	ひではる 秀治
木工	・		やまぐち 山口	みつお 三男

印章彫刻



よしまる まさとし
吉丸 方敏

昭和5年生

佐賀市

昭和23年に職人見習いとして弟子入りし、昭和33年に吉丸印判店を開店した。

これまで、手彫りの技能にこだわり続け、昭和59、61、63年には全日本印章業組合連合会技術競技大会に出品し、褒賞2回、入選1回を果たしている。

※ 平成20年10月にご逝去

名尾手漉和紙



たにぐち すすむ
谷口 進

昭和6年生

大和町

昭和20年から家業である名尾手漉き和紙製作に従事し、以来300年続く伝統を守り続けている。

昭和57年に県重要無形文化財の指定を受け、福岡・佐賀県内の様々なイベントで手漉き和紙製品の展示を行うなど、名尾手漉き和紙の普及に尽力している。

広告美術



かきはら ひろし
柿原 弘資

昭和8年生

佐賀市

昭和21年に広告美術業の会社に弟子入りし修業を積み、商業美術、造形美術、彫刻美術の各分野にわたり広く技能を修得した。

また平成11年に、技能グランプリ全国大会で1位を獲得し、卓越した技能者（現代の名工）の労働大臣表彰を受賞している。

和裁



ますだ あいこ
増田 愛子

昭和 13 年生

佐賀市

昭和 34 年に平野和裁教授所に入所し、7 年間で和裁の技能を修得した。昭和 57 年に増田和裁教室を開き、和裁技能の伝承に努めてきた。

また、佐賀県和裁技能士会会長に就任し、実技講習会や技能競技会を開催するなど、会員の技術向上に取り組んでいる。

機械工作（仕上げ）



さねまつ せいごう
實松 正剛

昭和 16 年生

佐賀市

昭和 31 年に(株)戸上電機製作所に入社以来、たゆまぬ努力により、平成元年に九州第 1 号の特級技能者になった。

また、平成 9 年に佐賀県技能士連合会会長に就任し、県内の技能士の社会的・経済的地位の向上に尽力している。

西洋料理



ほそい かずよし
細井 和芳

昭和 16 年生

佐賀市

昭和 32 年に西洋料理の世界に入り修業を重ね、昭和 55 年に世界料理オリンピックで都市チームグランプリ及び金メダルを受賞した。

また、佐賀県司厨士技能士会や佐賀県調理師連合協議会の会長を務めるなど、後進技能者の指導育成に情熱を燃やしている。

造園



たかとり ただひこ
高取 忠彦

昭和 19 年生

鳥栖市

昭和 42 年に(株)高取造園を開業し、個人庭園、作庭を原点とし、官庁工事、リゾート開発に伴う緑化事業に従事するとともに、日本庭園の伝統技法、石組み、石積み、大木の移植、緑化木の新技术育成に取り組むほか、造園技能士の技能の向上に尽力している。

畳製作



まつした とおる
松下 亨

昭和 20 年生

武雄市

昭和 39 年に(有)松下畳商会に入社して以来、技能の研鑽に努め、昭和 57 年には特殊畳の製作技術を習得した。

また、畳製作の機械化が進む中、「基本は手作業」の信念を持ち、技能の向上と振興に意欲的に取り組んでいる。

※ 平成 22 年 8 月にご逝去

陶磁器製造（ろくろ成形）



やしき ひではる
矢鋪 秀治

昭和 20 年生

西有田町

昭和 52 年、佐賀県重要無形文化財の中村清六氏に弟子入りし、以後 15 年間の修業を積み、平成 4 年に独立した。

平成 5 年には伊万里・有田焼伝統工芸士の認定を受けたほか、平成 10 年には絵付けの技能を修得するなど、たゆみない自己研鑽と後継者育成に努めている。

木工



やまぐち みつお
山口 三男

昭和 27 年生

多久市

昭和 43 年に県立中央職業訓練校を修了後、大阪などで修業を積み、昭和 55 年に山口工務店を創業した。

昭和 59 年に技能グランプリ全国大会で 5 位入賞を果たしたほか、認定職業訓練校の指導員として後進技能者の育成に尽くしている。